

1. 調査目的

府内における地域医療の実態を把握するため、府内医療機関及び医師を対象とした実態調査を行い、調査結果をもとに、地域の実情を踏まえた医師確保計画(第8次後期)及び外来医療計画(第8次後期)を策定する。

2. 調査対象

①医療機関

病院:約500施設(悉皆)、 有床診療所:約170施設(悉皆)、 無床診療所:1,000施設※

※二次医療圏別の診療所数及び診療科目の割合を参考に、府内約9,000施設から抽出

②医師個人

病 院:約16,500人(所属する全医師)、 診療所:約1,170人(1診療所あたり1名(院長を想定))

3. 調査の内容

調査項目

医師確保関係:前回の調査項目を基に、必要医師数・偏在状況の分析、勤務実態把握、医師確保策の検討に必要な項目を検討

- ・前回からの主な変更点：追加項目：産科、小児科・救急科における「医師の充足状況・今後の見通し」、「医師確保の方法」、「医療体制を維持する上での課題」を追加
外科領域に関する項目を新規設定（調査項目は上記と同様）
総合診療分野について、「総合診療専門医の配置効果」、「確保する上での課題」を追加
- 変更項目：感染症に関する前回調査項目（新型コロナ患者を治療できる医師の育成）を「感染症専門医の配置効果」、「確保上の課題」に変更
- 削除項目：医師の時間外労働時間の把握に関する項目を削除（別途実施する「医師の働き方改革法令施行後調査」との重複項目のため）

外来医療計画関係:前回の調査項目を基に、地域外来医療の検討に必要な項目を検討

- ・前回からの主な変更点：追加項目：地域産業保健センター、乳幼児健診（集団健診）について出務状況等を追加検討

4. 調査方法

- ①周知方法 府内医療機関あてにアンケート調査票(医療機関用、医師用)等を郵送→調査票の送付、回収等については業務委託により実施
- ②回答方法 大阪府行政オンラインシステム(直接入力または回答記入済の様式をアップロード)または郵送

5. 調査の期間

令和8年7月上旬～8月上旬

医療機関向け調査項目

- ・ 医師確保計画に関する項目については、産科等における医師の充足状況及び今後の見通し等を追加、外科領域に関する設問を追加 等
- ・ 外来医療計画に関する項目については、前回から変更なし

前回調査（R5年度）からの変更点箇所 ➡ 朱書き：追加項目、見え消し：削除項目

	調査項目	調査内容	目 的 A:必要医師数・偏在分析 B:勤務実態把握 C:医師確保策の検討 D:外来医療計画の検討
1	基本情報	施設名、所在地、医療機能等	A・D
2	従事医師数	常勤・非常勤、初期研修医、後期研修医、年代、性別	A・B・D
3	医師の勤務体制	日勤体制、夜間及び休日体制、当直体制（各科当直・全科当直）、当直医師数	B
4	医師の確保・定着に向けた取組等	月時間外勤務80h以上の医師の有無、時間外管理方法、医師の確保・定着に向けた取組 等	B・C
5	育児休暇の取得状況等	育児休暇取得状況、復帰後の勤務形態等	B・C
6	院内保育所の利用状況等	院内保育所、託児所の設置及び利用状況、業務負担軽減に向けた取組	B・C
7	今後の医師確保の見通し	医師確保が困難となる診療科、後継者の検討状況	A・B・C・D
8	産科、小児科、救急科	医療機能、医療体制、業務軽減に向けた取組、 医師の充足状況・今後の見通し、医師の確保方法、医療体制を維持する上での課題	A・B・C
9	外科領域	業務軽減に向けた取組み、外科領域における標榜診療科、医師の充足状況・今後の見通し、医師の確保方法、医療体制を維持する上での課題	
10	総合診療分野	病院の医療機能（診療内容）、医療体制（担当医師の属性）、 総合診療専門医の配置効果、確保する上での課題	
11	感染症分野	新型コロナウイルス感染症患者を治療できる医師の有無、治療できる医師の養成・確保の取組等 感染症に対する知識・技能の習得に向けた取組、感染症専門医の配置効果、確保する上での課題	
12	登録医師の情報（別葉）	診療科別、男女別、年代別、常勤・非常勤別	A
13	外来医療提供体制	外来の受付体制、外来患者の待ち時間、外来対応への負担、外来患者数	D
14	医療機器の設置状況等	医療機器設置状況、医療機器の共同利用の状況、画像検査依頼等	D
15	在宅医療の実施状況	在宅医療の実施状況、グループ診療体制の状況	D

医師向け調査項目

- ・ 医師確保計画に関する項目については、前回から変更なし（働き方改革法施行前後の医師の勤務実態の変化を把握・分析）
- ・ 外来医療計画に関する項目については、乳幼児健診（集団健診）、警察医の出務状況についても追加を検討

前回調査（R5年度）からの変更点箇所 → 朱書き：追加項目

	調査項目	調査内容	目 的 A:必要医師数・偏在分析 B:勤務実態把握 C:医師確保策の検討 D:外来医療計画の検討
1	基本情報	年齢、性別、勤務地、勤務形態、業務の種別、主たる診療科、専門医の取得状況	A ・ D
2	勤務先情報	主たる勤務先の医療機能、病院規模等	A ・ D
3	医師の勤務時間	6月の労働時間、宿日直、オンコール、直近1週間の勤務時間）等	A ・ B
4	医師の宿日直	宿日直の勤務の実態、業務従事割合（外来・入院・診療外）	B ・ C
5	医師の年次休暇等	休日日数、年次休暇の取得状況	B ・ C
6	産前産後、育児休暇	産休・育休の取得状況、復帰後の勤務形態等	B ・ C
7	保育所の利用	保育所・託児所の利用状況等	B ・ C
8	医師の負担軽減	負担が大きい業務、勤務環境改善の取組み	C
9	勤務先変更	勤務先の変更理由	B ・ C
10	公衆衛生に係る医療提供体制	休日夜間急患センター、産業医（地域産業保健センター含む）、学校医、乳幼児健診（集団健診）	26 ^D